

HIKOKI

電子ポリッシャ 電子ディスクサンダ

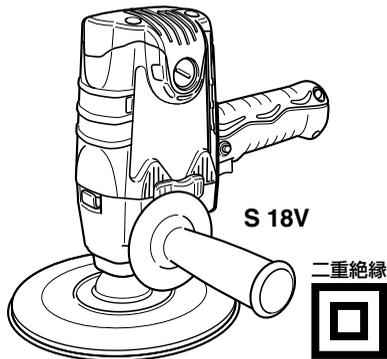
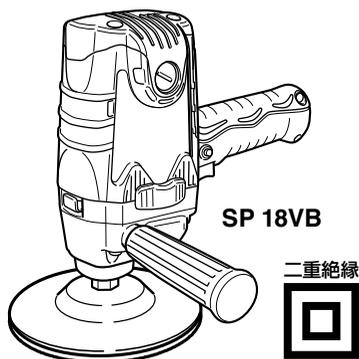
180 mm SP 18VB

125 mm SP 13V

180 mm S 18V

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
電子ポリッシャおよび電子ディスクサンダの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕様	7
標準付属品	8
別売部品	8
用途	10
作業前の準備	11
ご使用前に	11
使い方	14
保守・点検	16
ご修理のときは	裏表紙

警告、**注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**警告**」、「**注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
 - 屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⚠警告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に回マークで表示してあります。

純正品以外の部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

電子ポリリッシャおよび電子ディスクサンダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、電子ポリリッシャおよび電子ディスクサンダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

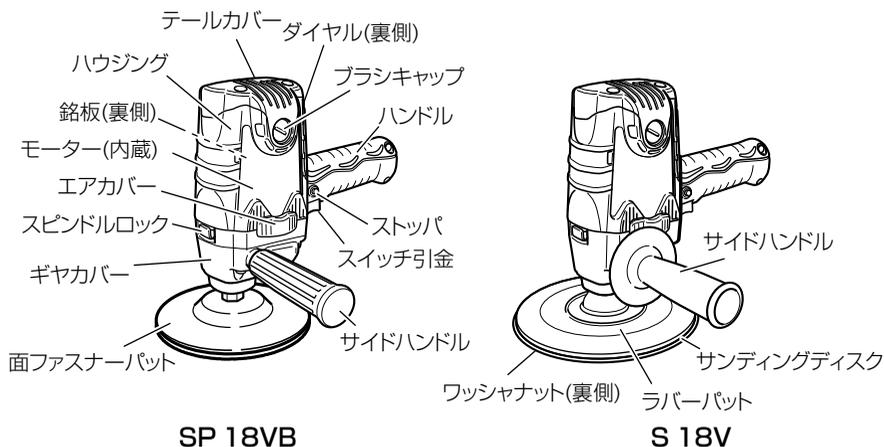
警告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② **先端工具（ラバーパット、面ファスナーパットおよび別売部品など）にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
異常があると、先端工具が破壊し、けがの原因になります。
- ③ **使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ **水、研削液などは使用しないでください。**
乾式用のため、感電の恐れがあります。
- ⑤ **材料は確実に固定してください。**
けがの原因になります。
- ⑥ **機体を万力などで保持した使い方はしないでください。**
けがの原因になります。
- ⑦ **使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑧ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。
- ⑨ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑩ **誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ **本製品は電子ポリリッシャおよび電子ディスクサンダです。トイシを取付けてディスクグラインダとして使用しないでください。**

注意

- ① 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 新しい先端工具を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、回転部から一時身体を避けてください。
先端工具が破壊したとき、けがの原因になります。
- ③ 試運転を励行してください。
試運転時間は、13ページの「8. 試運転を行う」の項をご参照ください。
試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

各部の名称



仕 様

	電子ポリリッシャ		電子ディスクサンダ
	SP 18VB	SP 13V	S 18V
使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V		
モーター	単相直巻整流子モーター		
全負荷電流	10.6 A		
消費電力	1,010 W		
無負荷回転数	600 ~ 2,000 min ⁻¹ {回/分}		1,500 ~ 4,800 min ⁻¹ {回/分}
質量 ^{*1}	2.2 kg	2.2 kg	2.1 kg
コード種類	2心キャブタイヤケーブル		
コード長さ	5 m		2.5 m
スピンドルネジ径	M16	M12	M16
振動3軸合成値 ^{*2}	—		4.4 m/s ² ^{*3}

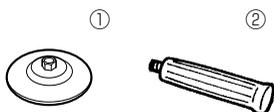
※1: パット、ワッシャナット、コード、サイドハンドルを除く

※2: 振動3軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)については、
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]

ウェブサイト: <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>
をご参照ください。

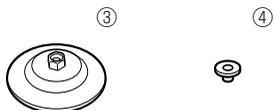
※3: 振動3軸合成値は、EN60745-2-3 規格に基づき測定しています。

標準付属品



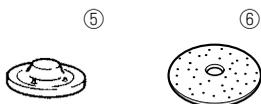
SP 18VB

- ① 面ファスナーパット (外径 150 mm) … 1 個
 - ② サイドハンドル (ツバなし) …… 1 個
- ただし、(N)仕様はサイドハンドルのみ



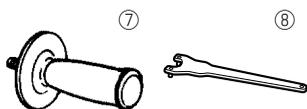
SP 13V

- ① 面ファスナーパット (外径 125 mm) … 1 個
 - ② サイドハンドル (ツバなし) …… 1 個
- ただし、(N)仕様はサイドハンドルのみ



S 18V

- ④ ワッシャナット …… 1 枚
- ⑤ ラバーパット (外径 180 mm) …… 1 個
- ⑥ サンディングディスク



- (外径 180 mm、粒度 P 80) …… 1 枚
 - ⑦ サイドハンドル (ツバあり) …… 1 個
 - ⑧ スパナ …… 1 本
- ただし、(N)仕様はサイドハンドルとスパナのみ

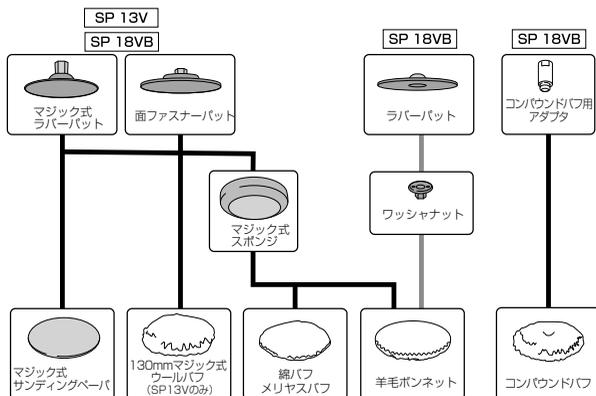
別売部品 …… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

先端工具として下記の別売部品を販売しております。作業用途に適した別売部品をお選びください。

注 •別売部品の各種ペーパー・バフ類はパットに中心を合わせて取付けて下さい。片寄って取付けますと、振動の原因になります。

警告

•別売部品は、ねじをしっかりと締付けて固定してください。はずれたりし、けがの原因になります。



適用機種		外径 (mm)	品名		用途	
SP 13V	研磨部品	125	マジック式サンディングペーパー (20枚入り)	AA	40 60 80 120 180 240	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車板金作業での板金パテ付後の空とき ●ポリパテ塗り後の空とき ●金属、木材の表面仕上
				ひも式	綿バフ メリヤスバフ (10枚入り)	
			ひも式	羊毛ボンネット		
			ひも式	マジック式ウールバフ 綿バフ (10枚入り)		
	パット	125・130mm用	125	面ファスナーパット (マジック式)	材質：エラストマ (硬)	各種研磨部品に合せてご使用ください
			マジック式ラバーパット	材質：ゴム (軟)		
SP 18VB	研磨部品	150	マジック式サンディングペーパー (20枚入り)	AA	40 60 80 120	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車板金作業での板金パテ付後の空とき ●ポリパテ塗り後の空とき ●金属、木材の表面仕上
				ひも式	綿バフ (10枚入り)	
			ひも式	メリヤスバフ (10枚入り)		
			ひも式	羊毛ボンネット		
	パット	150・170mm用 170mm用	150	面ファスナーパット (マジック式)	材質：エラストマ (硬)	各種研磨部品に合せてご使用ください
			マジック式ラバーパット	材質：ゴム (軟)		
			マジック式スポンジ			
	コンパウンドバフ	170・180mm用	170	ラバーパット		各種研磨部品に合せてご使用ください
ワッシャナット						
コンパウンドバフ	230	230	コンパウンドバフ用アダプタ (取付金具)		●金属塗装面のコンパウンド磨き、ワックスのつや出し	
		コンパウンドバフ	ねじ式			

S 18V

○ 180 mm サンディングディスク……………

サンディングディスクは粒度が P16、P20、P24、P30、P36、P40、P50、P60、P80、P100、P120、と 11 種類ありますので、ご要求の際は適当な粒度をご指定ください。

○ 150 mm サンディングディスク……………

サンディングディスクは粒度が P16、P20、P24、P30、P36、P40、P50、P60、P80、P100、P120、と 11 種類ありますので、ご要求の際は適当な粒度をご指定ください。

○ラバーパット (150 mm サンディングディスク)……………

S 18V には 150 mm ラバーパットは標準で付属されていません。150 mm サンディングディスクを使用する際には、必ずセットでご使用ください。(P.8 標準付属品参照)

用 途

SP 18VB、SP 13V

- 自動車、車輛、エレベータ、冷蔵庫、マシン、洗濯機、医療機器などの金属、塗装面の仕上げ、つや出し
- 家具調度品など木製品のラッカー仕上げ面みがき
- 合成樹脂、エポナイト製品のつや出し
- 板金塗装などの下地仕上げ

S 18V

- 金属表面の研削 (研削量が少なく仕上面をきれいにしたいとき)
- 金属塗装面の下地みがき、さび落とし、塗り替えの際の塗料落とし
- 木工の仕上げ、板の目違い (段違い) 直し
- 木材塗装面の下地みがき

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ（延長）コード



警告

- 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源がはなれているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ（延長）コードをできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2 mm ²	15 m
3.5 mm ²	30 m

左の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

3. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「電動工具の安全上のご注意」①、②、④項にかがけられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に



警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～5項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、先端工具や機体が故障する恐れがあります。また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。スイッチはスイッチ引金（7ページの図参照）を引くと入り、はなすと切れます。

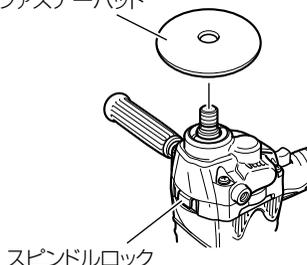
スイッチ引金を引き、はなしたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. スピンドルロックの確認

スピンドルロック（7ページの図参照）を押して、はなしたとき確実に戻ることを確認してください。

4. 先端工具を取付ける

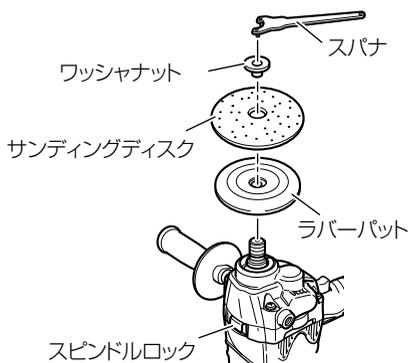
面ファスナーパット



SP 18VB、SP 13V の場合

- (1) スピンドルロックを押し込みながらスピンドルに面ファスナーパットをねじ込み、十分に締付けます。
- (2) 別売部品のマジック式の各種バフを取付けます。この際、お互いの中心が一致するように注意深く貼り付け、しっかりとお互いの面を押しつけるようにしてください。

注 • 各種バフを片寄って取付けると、アンバランスになり振動の原因になります。
• 面ファスナーの押しつけが弱い場合、回転により各種バフが飛散する原因となります。



S 18V の場合

- (1) まず、ラバーパットの上にサンディングディスクを乗せ、中央の穴にワッシャナットをはめ込みます。
- (2) スピンドルロックを押しながら、スピンドルにワッシャナットをねじ込みます。次にスパナを使ってワッシャナットを十分に締付けます。

5. サイドハンドルを取付ける

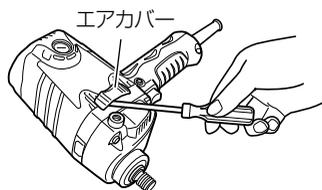
サイドハンドルはギヤカバーの両側にあるねじ穴に取付けます。
利き手にあわせて取付方向を決めてください。

6. エアカバーを取付ける

エアカバー（7 ページの図参照）は、作業時に気になるモーターの冷却風をできる限り避けるためにサイドハンドルの取付ける側の風窓に取付けて下さい。

取付ける際は、風窓にエアカバの爪を引っ掛け、爪を押し込んで取付けてください。

取りはずし方は、図に示す様にマイナスドライバーなどで引っ掛けて取りはずしてください。



7. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようなら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

8. 試運転を行う

⚠注意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。
接触していることを知らずにスイッチを入れると、先端工具が破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しい先端工具を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、回転部分から必ず一時身体を避けてください。

先端工具にヒビ・割れがあるのを気づかずに作業すると非常に危険です。けがの原因になります。

作業前には人のいない方向に回転部分に向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

試運転は、その日の作業始めのときおよび先端工具交換のときに 1 分間以上行ってください。

9. 溶接機に注意する

溶接機のすぐ近くで作業すると、回転が不安定になることがあります。

使 い 方

⚠ 警告

- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 機体に衝撃をかけると先端工具にヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。
万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ず先端工具のヒビ、割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

⚠ 注意

- 回転中、コードが先端工具に触れますと、コードが巻き込まれる恐れがありますので十分注意してください。
- ダイアル 1～3 で長時間連続作業を行なうと、モーターが故障する原因になります。
- 作業面に本体を強く押しつけないでください。
強く押しつけすぎると、先端工具が作業面を荒らす上、破損したり、モーターが故障する原因になります。

注 • モーターが回転中には、スピンドルロックを押さないでください。またスピンドルロックを押したままでスイッチを入れないでください。

SP 18VB、SP 13V

- 注** • 作業前に、使用するコンパウンド剤やワックス剤の注意書きをよく読み、内容にしたがって使用してください。
- 作業によって仕上げ面が傷まないよう、作業前に仕上げ面にほこりや粉じんがない状態にしてください。
 - 作業時には仕上げ面を傷めないよう、ダイアルで回転数を調整してください。特に、曲面や周縁部分は、作業の際に仕上げ面が傷みやすいので、ダイアルで回転数を十分に落として使用してください。
 - 本体を仕上げ面に強く押しつけると、仕上げ面を傷めますので、本体の自重程度で注意深く仕上げ面の状態を確認しながら作業を進めてください。

塗装後の表面を仕上げる場合は、コンパウンド磨きを行った後、ワックス仕上げをしてください。

【コンパウンド磨きの場合】

コンパウンドは仕上げ面に少量塗布し、表面の仕上げ程度に応じて粒度を変えて仕上げてください。

【ワックス仕上げの場合】

ワックスは伸びのよい液状のものをおすすめします。

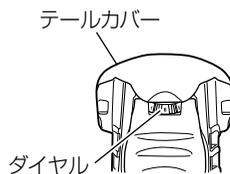
ワックスは仕上げ面に少量塗布し、乾燥する前にムラなく伸ばしてください。

【ダイヤルの番号と回転数の目安】

回転数はダイヤルで調整できます。

作業の対象や内容に適した回転数にあわせてご使用ください。

ダイヤル番号	※回転数 (min ⁻¹) {回 / 分}
1	600
2	800
3	1,150
4	1,500
5	1,850
6	2,000



回転数は目安であり、実際の回転数は多少のばらつきがあります。

S 18V

⚠ 警告

- 突起物・角部にサンディングディスクの外周部を当てないでください。破壊の恐れがあります。
- サンディングディスクは被研削面に強く押し当てないでください。破壊の恐れがあります。

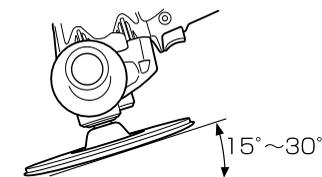
注 ●作業時には仕上げ面を傷めないよう、ダイヤルで回転数を調整してください。

特に、曲面や周縁部分は、作業の際に仕上げ面が傷みやすいので、ダイヤルで回転数を十分に落として使用してください。

- 本体を仕上げ面に強く押しつけると、仕上げ面を傷めますので、本体の自重程度で注意深く仕上げ面の状態を確認しながら作業を進めてください。

サンディングディスクを被研削面に、本体の自重程度で押し当てます。

押しつけ角度は、サンディングディスクの全面を被研削面に当てないで、外周部分で研削するよう 15°～30° 傾けてご使用ください。

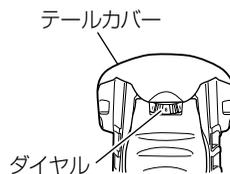


【ダイヤルの番号と回転数の目安】

回転数はダイヤルで調整できます。

作業の対象や内容に適した回転数にあわせてご使用ください。

ダイヤル番号	※回転数 (min ⁻¹) {回 / 分}
1	1,500
2	1,850
3	2,700
4	3,550
5	4,400
6	4,800



回転数は目安であり、実際の回転数は多少のばらつきがあります。

スイッチはスイッチ引金をいっばいに引いてからストッパを押すと、スイッチ引金から指をはなしてもスイッチが入ったままになり、長時間連続使用の場合に便利です。

再びスイッチ引金を引くとストッパがはずれ、スイッチ引金から指をはなすとスイッチが切れます。

⚠️ 注意

- スイッチのストッパを使用しているとき、ストッパを指で押したままではスイッチ引金を引いてもストッパがはずれず、スイッチを切ることができません。スイッチのストッパを指で押したままで作業しないでください。

保守・点検

⚠️ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. 各部取付けねじの点検

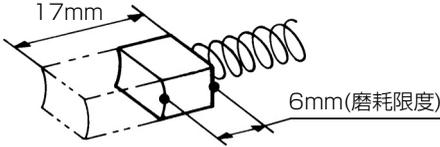
各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら、締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

2. カーボンブラシの点検

モーター部には、ストップカーボンを使用しています。

カーボンブラシの長さが摩耗限度になりますと、自動的に電流がしゃ断され、モーターが停止します。停止したときは、カーボンブラシの寿命ですので両方のカーボンブラシを新品と交換してください。



また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注 •新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(7ページの図参照)をはずすと取り出せます。

3. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

注 •50時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハンドルの風穴から吹き込んでください。

ゴミやほこりの排出に効果があります。

モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

4. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨がかったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>